



クオリティインディケーター（QI）成果報告

【循環器内科】

指標名

カテーテル治療関連の出血合併症について

目標：ゴール

不整脈のカテーテルアブレーション治療は根治術として標準治療である。大腿静脈穿刺によりアプローチし、心筋焼灼を行い、治療後、カテーテル抜去し、圧迫止血と安静により出血合併症を減するが、出血合併症は完全にはなくなる。圧迫止血時に、止血効果を高めるため、現在、ダーマボンド、バスケードを使用し、出血予防に努めている。

目標：ゴール達成による効果

治療の安全性を高める。

患者満足度を高める。

予定外の入院期間延長や輸血を防ぐことができる。

目標：ゴールに対する成果の状況

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

目標：ゴール達成度

- ☐ S : 大幅な目標を上回った
- ☐ A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐ A : 目標を達成
- ☐ B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐ B : 目標を下回った
- ☐ C : 目標を大幅に下回った
- ☐ - : 外的要因より継続困難となった

目標：ゴールの課題・改善策

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇

〇〇〇